

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	上	8	2	4	4

大単元(題材名)	ことばに親しもう		
中単元(曲名)	「じこしょうかいビンゴゲーム」をしよう		
主領域／領域／内容の区分	A話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B相互理解，寛容		

【到達目標】	
知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに，間の取り方などに注意して話することができる。
思・判・表	○ 目的を意識して，日常生活の中から話題を決め，伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 ○ 自分と友達との共通点や相違点などを，ビンゴゲームを通して考えたり発表したりすることができる。 ○ 質問するなどして情報を集めたり，それらを発表したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分のことを知ってもらうために，進んでビンゴゲームをしたり，話し合ったりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 自分のことを知ってもらうために，ビンゴゲームを通して間の取り方などに注意して話している。	(1)イ
思・判・表	○ 自分の好きなものや得意なことなど，伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ○ 自分と友達との共通点や相違点を確かめながら，ビンゴゲームをしている。	A(1)ア (2)イ A(1)ア (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分の好きなものや得意なことなどをカードに書こうとしている。 ○ カードを使ってビンゴゲームをしようとしている。 ○ 自分のことを知ってもらうために，進んでビンゴゲームをしたり，話し合ったりしようとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「じこしょうかいビンゴゲーム」をしよう①	1	○ 学習の流れを確かめる。	見通し
		○ 自分の好きなものや得意なことなどをカードに書く。	話題の設定
「じこしょうかいビンゴゲーム」をしよう②	1	○ 4～5人でグループを作り、カードを使ってビンゴゲームをする。	考えの形成
		○ ビンゴゲームが終わった後、カードをもとに友達と話し合う。	共有

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	上	10	~	12	2	4	~	4

大単元(題材名)	ことばに親しもう		
中単元(曲名)	かえるのびよん		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	A個性の伸長		

【到達目標】

知・技	○ 詩の構成や内容の大体を意識しながら音読できる。
思・判・表	○ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述をもとに捉えることができる。
	○ 「かえるのびよん」を読み、内容をイメージしたり、イメージしたことをもとに音読することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「びよん」になったつもりで、様子や気持ちをイメージしながら音読し合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 「かえるのびよん」のくりかえしの表現や連ごとの内容の大体を意識しながら音読している。	(1)ク
思・判・表	○ 「びよん」の跳んでいる様子や気持ちなどについて、叙述をもとに捉えている。	C(1)イ (2)イ
	○ 「かえるのびよん」を読み、詩の情景についてイメージを広げたり、音読し合ったりしている。	C(1)イ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 「びよん」になったつもりで、様子や気持ちをイメージしながら読み方をいろいろ工夫して音読し合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
かえるのびよん	2	○ 声に出して音読し、初発の感想を発表し合う。	構造と内容の把握
		○ 連ごとに「びよん」の跳んでいる様子を自由にイメージし合う。	精査・解釈
		・ 跳んでいるときの、「びよん」の様子や思ったことなど。	精査・解釈
		○ 「びよん」になったつもりで、様子を思い浮かべながら、音読し合う。	考えの形成
		・ 各連の終行の「びよん」の読み方を工夫する。	考えの形成

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	3	教出	上	14	～	31	10
							4
							4

大単元(題材名)	ー ばめんのつながりに気をつけて読もう		
中単元(曲名)	白い花びら		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	B友情，信頼	D自然愛護／感動，畏敬の念	

【到達目標】

知・技	○ 言葉と言葉の関係や役割について理解することができる。
	○ 物語を読んで，必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の行動や気持ちなどについて，叙述をもとに捉えることができる。
	○ 登場人物の気持ちの変化や性格について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。
	○ 書く内容を明確にし，文章の構成を考えることができる。
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ ゆうたや女の子の行動に関心を持ち，気に入った言葉に着目して，想像をふくらませながら読もうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 「白い花びら」の中で気に入った言葉や表現を捉え，またその理由を説明している。	(1)エ，カ (3)オ
	○ 「白い花びら」を読み，必要な知識や情報を得ている。	(1)エ，カ (3)オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，カ (3)オ
思・判・表	○ ゆうたを中心に，かずきや女の子の行動や気持ちなどについて，叙述をもとに捉えている。	C(1)イ，エ (2)イ
	○ 登場人物の気持ちの変化や性格について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	C(1)イ，エ (2)イ
	○ 女の子に対するゆうたの気持ちがどのように変わっているか，自分の考えをまとめ，友達と紹介し合っている。	C(1)イ，エ (2)イ
	○ 女の子について不思議だと思うところを，場面ごとに考えてノートにまとめている。	B(1)イ，オ (2)ウ
	○ ゆうたは再び女の子と会えるか，自分の考えをノートにまとめ，友達と意見を伝え合っている。	B(1)イ，オ (2)ウ
	○ 「白い花びら」を読んで，感じたことや想像したことを書いている。	B(1)イ，オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 3人の登場人物の性格や行動などの特徴をノートにまとめている。	
	○ 女の子に対するゆうたの気持ちの変化を考えている。	
	○ ゆうたを中心にかずきや女の子の行動や気持ちを読みながら，気に入った言葉に着目して，物語を楽しんでいる。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
白い花びら①	1	○ 全文を読み，「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
白い花びら②	2	○ 登場人物や場面などを確かめる。	構造と内容の把握
		○ 物語を読んで感じたことをノートに書き，友達と話し合う。	構造と内容の把握
白い花びら③	4	○ 3人の登場人物の性格や行動などの特徴をノートにまとめ，紹介し合う。	精査・解釈
		・ 女の子に対するゆうたの気持ちの変化を発表する。	精査・解釈
白い花びら④	1	○ ゆうたは，女の子にまた会えるか，考えをまとめ，紹介し合う。	考えの形成
白い花びら⑤	1	○気に入った言葉や表現を紹介し合い，その理由も説明する。	共有
		○ 31ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	上	32	～	33	3	4	～	4

大単元(題材名)	毎日の「発見」を書きためましょう。		
中単元(曲名)	「発見ノート」を作ろう		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して、経験したことから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 事実やそれをもとに考えたことを「発見ノート」に書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 毎日の生活の中で、見つけたことを「発見ノート」に書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 「発見ノート」を書くことをとおして、言葉にはさまざまな働きがあることに気づいている。	(1)ア, エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ア, エ
思・判・表	○ 「発見ノート」の書き方をもとに、経験したことを選び、伝えたいことを明確にして書いている。	B(1)ア (2)ア
	○ 事実やそれをもとに考えたことを「発見ノート」に書いている。	B(1)ア (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 毎日の生活の中で、見つけたことを「発見ノート」に書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「発見ノート」を作ろう①	1	○ 「発見ノート」の書き方を確かめる。	内容の検討
「発見ノート」を作ろう②	1	○ 教科書の文例を参考に、自分の「発見ノート」を書く。	記述
「発見ノート」を作ろう③	1	○ 書いたノートを交換し、感想を発表し合う。	共有
		・ これからの毎日で、「発見ノート」を書くようにする。	共有
		○ 33ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	上	34	~	37	3	5	~	5

大単元(題材名)	国語辞典の引き方		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 国語辞典の引き方を知り、日常生活でも積極的に活用しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し、使っている。	(1)エ (2)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)イ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 国語辞典の引き方を知り、日常生活でも積極的に活用している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
国語辞典の引き方①	1	○ 34ページの国語辞典の見本をもとに、各項目を確認する。	
		○ 見出し語の並び順を確かめる。	
		・ 五十音順、清音、濁音、半濁音	
		○ 複合語の場合の引き方を確かめる。	
		・ 辞典によって使い方が異なることもあるので、それぞれの辞典の「つかい方」のページで確かめる。	
		・ 片仮名の長音は「ア・イ・ウ・エ・オ」読み、五十音順に並んでいる。	
国語辞典の引き方②	1	○ 国語辞典を使って、「ひかげ」「ヒーロー」「ピアノ」「ひっこし」などの言葉の意味を調べる。	
		○ 友達と言葉を出し合って、調べ合う。	

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	3	教出	上	38	～	41	6
							5
							5

大単元(題材名)	二 すじみちを立てて発表しよう		
中単元(曲名)	たからものをしょうかいしよう		
主領域／領域／内容の区分	A話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	A個性の伸長	B友情、信頼／相互理解、寛容	

【到達目標】	
知・技	○ 考えとそれを支える理由や事例について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、伝えたいことが明確になるよう話の構成を考慮することができる。
	○ 伝えたいことの中心を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。
	○ 説明や報告などを話したり、それらを聞いたりして、筋道を立てた発表をすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 宝物の紹介をとおして、「話す前」「話すとき」「聞くとき」に気をつけて筋道を立てた発表をしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 自分の宝物とそれはなぜ宝物か、その理由や事例について理解している。	(1)エ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア
思・判・表	○ 伝えたいことが伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の組み立てを考えている。	A(1)イ、ウ (2)ア
	○ いちばん伝えたいことを意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。	A(1)イ、ウ (2)ア
	○ 自分や友達の宝物について紹介したり、それらを聞いたりして、筋道を立てた発表をしている。	A(1)イ、ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 伝えたいことが伝わるように、組み立てを考えている。	
	○ 宝物の紹介をとおして、「話す前」「話すとき」「聞くとき」に気をつけて筋道を立てた発表をしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
たからものをしょうかいしよう①	1	○ 38ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に、学習計画を立てる。	見通し
たからものをしょうかいしよう②	1	○ 紹介したい宝物を選び、それが自分にとってどうして宝物なのか考える。	情報の収集
たからものをしょうかいしよう③	2	○ 伝えたいことが伝わるように、組み立てを考える。	内容の検討/考えの形成
		・ 発表メモを書き、グループの中で練習する。	内容の検討/考えの形成
		・ 意見や感想を伝え合い、メモを書き直す。	内容の検討/考えの形成
たからものをしょうかいしよう④	2	○ クラスで発表し、感想を伝え合う。	共有
		・ グループで代表を選び、交代で発表し合い、感想を伝え合う。	共有
		○ 41ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	上	42	～	45	2	5	～	5

大単元(題材名)	大事なことは何か考えて、メモを取りましょう。		
中単元(曲名)	聞いてさがそう		
主領域／領域／内容の区分	A話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 必要なことをメモしたり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができる。
	○ 質問するなどして情報を集め、それをもとに聞きたいことを確かめる活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 地図をもとに、目的地までの道順をメモを取って聞き、目的地まで行こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ
思・判・表	○ 必要なことをメモしたり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたい目的地を確かめている。	A(1)エ (2)イ
	○ 知りたいことや確かめたいことなどを質問して情報を集め、目的地を確かめている。	A(1)エ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 目的地まで行けるように、地図をもとに、目的地までの道順をメモを取りながら聞いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
聞いてさがそう①	1	○ 教科書を読み、学習計画を立てる。	見通し
		・ メモを取りながら話を聞く。	見通し
		・ 話を聞いた後、必要な質問をする。	見通し
聞いてさがそう②	1	○ 42・43ページの地図をもとに、A地点からB地点までを設定し、その道順を話す。	構造と内容の把握
		○ その話を、メモを取りながら聞き、B地点を探し当てる。	構造と内容の把握
		○ 45ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	上	46	~	47	2	4	~	4

大単元(題材名)	漢字の広場①		
中単元(曲名)	漢字学習ノート		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 第3学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。
	○ 漢字の読み方・組み立て・意味・使い方を知り、正しく書いている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 読み方・組み立て・意味・使い方などをまとめた「漢字学習ノート」を作り、漢字を使った言葉を集めたり、文中で正しく使ったりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ
	○ 漢字の読み方・組み立て・意味・使い方を知り、正しく書いている。	(1)エ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 読み方・組み立て・意味・使い方などをまとめた「漢字学習ノート」を作り、漢字を使った言葉を集めたり、文中で正しく使ったりしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
漢字学習ノート	2	○ 「漢字学習ノート」の作り方を知る。	
		・ 読み方・組み立て・意味	
		・ その漢字を使った言葉集め・その言葉の使い方	
		・ 集めた言葉を使った文作り	
		○ 3年生になって学習した漢字で「漢字学習ノート」をまとめ、友達と交流し合う。	

2023

年度

教科

学年

国語

3

教科書

上下教科書ページ

教出

上

48

～

48

配当時数

2

配当月

4

～

4

大単元(題材名)	二年生で学んだ漢字①	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 考えた文章とそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
	○ 2年生で学んだ漢字を使って、感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 48ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに、絵の中の様子を具体的に文章に書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 2年生で学習した漢字を使って文章を書いている。	(1)エ
思・判・表	○ 絵の中の言葉と漢字を使って、書き表し方を工夫し、絵の中の様子を書いている。	B(1)ウ (2)ウ
	○ 48ページの言葉や2年生で学んだ漢字を使って、感じたことや想像したことを書いている。	B(1)ウ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 48ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに、絵の中の様子を具体的に書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
二年生で学んだ漢字①	2	○ 48ページの絵をもとに、言葉や漢字を使って絵の中の様子を書き、友達と交流し合う。	記述・共有

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	3	教出	上	50	～	51	3
							5
							6

大単元(題材名)	三 だんらくの要点をつかもう		
中単元(曲名)	うめぼしのはたらき		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	○ 段落の役割などについて理解することができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例，全体と中心との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 段落相互の関係に着目しながら，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて，叙述をもとに捉えることができる。
	○ 目的を意識して，中心となる文とそれを説明する文を見つけることができる。
	○ 報告文を読み，文章の一部を引用して，わかったことや考えたことを説明したり，意見を述べたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 説明文の構成や，その読み方を理解しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 段落の役割について理解しながら，「うめぼしのはたらき」を読んでいる。	(1)エ，カ (2)ア
	○ 「なぜうめぼしを食べるのか」，その理由や事例，全体と中心などの関係について理解している。	(1)エ，カ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，カ (2)ア
思・判・表	○ 段落相互の関係に着目しながら，「なぜうめぼしを食べるのか」，その理由や事例との関係などについて，叙述をもとに捉えている。	C(1)ア，ウ (2)ア
	○ 「うめぼしのはたらき」の中心となる文，説明する文を見つけている。	C(1)ア，ウ (2)ア
	○ 「うめぼしのはたらき」を読み，文章の一部を引用して，わかったことや考えたことを説明したり，意見を述べたりしている。	C(1)ア，ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 脚注を参考に，説明文の構成を確かめている。	
	○ 確かめたことをもとに，他の段落を読み，説明文の読み方を確かめている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
うめぼしのはたらき①	1	○ 教材の構成（本文と脚注）を確かめる。	構造と内容の把握
		・ 本文がいくつの段落に分かれているか	構造と内容の把握
		・ 本文に対する，脚注のはたらき	構造と内容の把握
		○ 本文第二段落までと，脚注欄を対応させて読み取る。	精査・解釈
うめぼしのはたらき②	1	・ どこに，どのような疑問があるか	精査・解釈
		○ 第三～五段落で，「中心になる文」「説明する文」を確かめる。	精査・解釈
		○ 第一段落と第六段落の対応を確かめる。	考えの形成

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	3	教出	上	52	～	61	11
							5
							～
							6

大単元(題材名)	三 だんらくの要点をつかもう		
中単元(曲名)	めだか		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	D自然愛護		

【到達目標】

知・技	○ 段落の役割について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 段落相互の関係に着目しながら、めだかが生きている理由や事例との関係などについて、叙述をもとに捉えることができる。
	○ 段落の中心となる語や文を見つけて、段落の要点をまとめることができる。
	○ 説明文を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりすることができる。
	○ 学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
	○ 読んでわかったことや、事実やそれをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ めだかの身の守り方や体の特徴など、段落相互の関係に着目したり、段落の要点をまとめたりしながら読もうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 段落の役割について理解しながら、「めだか」を読んでいる。	(1)エ, カ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, カ
思・判・表	○ 段落相互の関係に着目しながら、めだかの身の守り方や体の特徴などについて、叙述をもとに捉えている。	C(1)ア, ウ (2)ア, ウ
	○ 段落の中心となる語や文を見つけて、その段落の要点をまとめている。	C(1)ア, ウ (2)ア, ウ
	○ 「めだか」を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりしている。	C(1)ア, ウ (2)ア, ウ
	○ めだかについて、教科書以外の情報を事典や図鑑などから得て、わかったことなどをまとめて説明している。	C(1)ア, ウ (2)ア, ウ
	○ 「めだか」を読んでわかったことを、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えてまとめている。	B(1)イ, ウ (2)ア
	○ 「めだか」を読んで思ったこと・考えたことについて、理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	B(1)イ, ウ (2)ア
	○ 「めだか」を読んでわかったことを文章にまとめるなど、事実やそれをもとに考えたことを書いている。	B(1)イ, ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ めだかの何について説明しているのか、文章を大きく二つに分けている。	
	○ 「めだか」を読んでわかったことを文章にまとめている。	
	○ めだかの身の守り方や体の特徴などについて、段落相互の関係に着目したり、段落の要点をまとめたりしながら読んでいる。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
めだか①	1	○ 全文を読み, 「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
めだか②	1	○ めだかの何について説明しているのか話し合った後, 文章を大きく二つに分ける。	構造と内容の把握
めだか③	5	○ 2つに分けた文章について, 段落の要点を書く。	精査・解釈
		・ 敵からどのようにして身を守っているか	精査・解釈
		・ 自然の厳しさに耐える体の特徴	精査・解釈
めだか④	2	○ 「めだか」を読んでわかったことを文章にまとめる。	考えの形成
めだか⑤	1	○ 書いた文章を友達と読み合う。	共有
		○ 61ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	上	62	~	67	4	6	~	6

大単元(題材名)	声に出して読み、言葉のリズムを楽しみましょう。		
中単元(曲名)	俳句に親しむ		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	D自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ 易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。
	○ 俳句を読んで、感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 俳句の形式やその内容の大体を知るとともに、声に出して読み、言葉のリズムを楽しもうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	(1)エ (3)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)ア
思・判・表	○ 好きな俳句を選んだ理由が相手に伝わるような表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。	B(1)ウ (2)ウ
	○ 俳句を読んで、感じたことや想像したことを書いている。	B(1)ウ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 俳句の形式やその内容の大体を知るとともに、声に出して読み、言葉のリズムを楽しんでいる。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
俳句に親しむ①	1	○ 俳句の形式と特徴を確認する。	構造と内容の把握
		・ 五・七・五の十七音、季語	構造と内容の把握
俳句に親しむ②	2	○ 季節ごとに、声に出して読み合い、言葉のリズムを楽しむ。	精査・解釈
俳句に親しむ③	1	○ 好きな俳句を書き写し、選んだ理由も書く。	考えの形成

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	上	68	3	6	6

大単元(題材名)	四 しりょうを集めて活用しよう		
中単元(曲名)	本で調べよう		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	C規則の尊重		

【到達目標】

知・技	○ 必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して，中心となる語や文を見つけて要約することができる。
	○ 記録や報告などの文章を読み，文章の一部を引用して，わかったことや考えたことを説明することができる。
	○ 学校図書館などを利用し，事典や図鑑などから情報を得て，わかったことなどをまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 目次や索引の役割を知り，必要な情報を得るために，それらを活用して効果的に本を読み，知りたいことを調べようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 「読書カード」を，必要な語句などを書き留めたり，出典を示したりして書くことができる。	(1)エ (2)イ
	○ 本の目次や索引の役割とその活用の仕方を理解している。	(1)エ (2)イ
	○ 読みたい本を探して，調べたことを「読書カード」に書き，読み合っている。	(1)エ (2)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)イ
思・判・表	○ 「本を読んでわかったこと」など，中心となる語や文を見つけて要約することができる。	C(1)ウ (2)ア，ウ
	○ 記録や報告などの文章を読み，文章の一部を引用して，わかったことや考えたことについて「読書カード」に書き，読み合っている。	C(1)ウ (2)ア，ウ
	○ 学校図書館などを利用し，事典や図鑑などから情報を得て，わかったことなどをまとめている。	C(1)ウ (2)ア，ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 目次や索引の役割を知り，必要な情報を得るために，それらを活用して効果的に本を読み，知りたいことを調べている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
本で調べよう①	1	○ 本の目次や索引の役割とその活用の仕方を知る。	構造と内容の把握
		・ 「目次」「索引」「前書き・後書き」「本のつくり」	構造と内容の把握
本で調べよう②	2	○ 調べたいことを本で調べたり，その本を「読書カード」に書いて読み合う。	考えの形成
		・ 本の題名・本を書いた人・発行日・出版社・本の置いてある場所など	考えの形成

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	上	72	10	6	6

大単元(題材名)	四 しりょうを集めて活用しよう		
中単元(曲名)	クラスの「生き物ブック」を作ろう		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	D自然愛護		

【到達目標】

知・技	○ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して、自分が調べたいことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考え、書くことができる。
	○ 調べたことをまとめて説明するなど、本や図鑑で確かめたことをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 生き物の特徴を説明する文章を書き、クラスで「生き物ブック」を作り、友達と読み合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	(1)エ, カ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, カ
思・判・表	○ クラスの「生き物ブック」をつくるために、調べたい生き物を選び、その特徴を探し、比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア, イ (2)ア
	○ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章を書いている。	B(1)ア, イ (2)ア
	○ 図や資料、理由や具体的な例を挙げて、調べたことをまとめた文章を書いている。	B(1)ア, イ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 調べたい生き物の特徴を探し、組み立てメモを作っている。	
	○ 組み立て表を読み合い、検討している。	
	○ 生き物の特徴を説明する文章を書き、クラスで「生き物ブック」を作り、友達と読み合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
クラスの「生き物ブック」を作ろう①	1	○ 72ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に,学習計画を立てる。	見通し
クラスの「生き物ブック」を作ろう②	3	○ 生き物を選んで調べる。	題材の設定/情報の収集
		・ 調べたい生き物の特徴を探す。	題材の設定/情報の収集
		・ 選んだ生き物と, 比べてみたい生き物について調べ, メモに書く。	題材の設定/情報の収集
クラスの「生き物ブック」を作ろう③	2	○ 組み立て表を作る。	内容の検討/構成の検討
		・ 書いたメモを並べる。	内容の検討/構成の検討
		・ 組み立て表を読み合い, 見直す(75ページを参考に)。	内容の検討/構成の検討
クラスの「生き物ブック」を作ろう④	2	○ 文章を書く。	考えの形成/記述
		・ 「ここが大事」「大事な言い方」や「よこ書きの文の書き方」を参考にする。	考えの形成/記述
クラスの「生き物ブック」を作ろう⑤	1	○ 文章を読み返す。	推敲
		・ 前時の「参考」がおさえられているか。	推敲
クラスの「生き物ブック」を作ろう⑥	1	○ 友達と読み合う。	共有
		・ 図や資料を目的に合わせて選んでいるか。	共有
		・ 内容のまとまりごとに段落を作り, 書いているか。	共有
		○ 77ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	上	78	~	79	2	7	~	7

大単元(題材名)	漢字の広場②		
中単元(曲名)	漢字の音と訓		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 第3学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。
	○ 漢字の音と訓を理解し、文の中で使い分けることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字には、音と訓の二つの読み方があることを理解しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ
	○ 漢字には音と訓があることがわかり、文の中で使い分けしている。	(1)エ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字には、音と訓の二つの読み方があることを理解している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
漢字の音と訓	2	○ 漢字の音と訓の読み方のちがいを知る。	
		・ 伝えられた当時の中国での発音に近い読み方 … 「音」	
		・ その漢字の意味に合った日本語をあてて読む読み方 … 「訓」	
		○ 漢字の言葉を読んで音と訓を確かめる。	

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	上	80	~	80	2	7	~	7

大単元(題材名)	二年生で学んだ漢字②		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 目的を意識して，絵の中の言葉や漢字を使って，経験したことや想像したことなど，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 80ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，夏休みのことについて具体的に文章に書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 2年生で習った漢字を使って，文や文章を書いている。	(1)エ
思・判・表	○ 絵の中の言葉や漢字をもとに，経験したことや想像したことなどから書くことを選び，夏休みの日記を書いている。	B(1)ア (2)ウ
	○ 80ページの言葉や2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書いている。	B(1)ア (2)ウ
	○	
主体的に学習に取り組む態度	○ 80ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，夏休みのことについて具体的に書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
二年生で学んだ漢字②	2	○ 80ページの絵の中の言葉や漢字を使って夏休みの日記を書き，友達と交流し合う。	記述/共有

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	上	82	～	99	10	7	～	7

大単元(題材名)	五 登場人物のせいかくを考えながら読もう		
中単元(曲名)	のらねこ		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	B相互理解，寛容	D自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増やし，話や文章の中で使うとともに，語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の行動や気持ちなどについて，叙述をもとに捉えることができる。
	○ 登場人物の気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。
	○ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。
	○ 物語を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりすることができる。
	○ 書く内容の中心を明確にして，文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 物語を読んで，感じたことや想像したことを書くことができる。
	○ 場面の展開に即して，リョウとのらねことのふれあいを，そのときの様子や気持ちを想像しながら読もうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ リョウやのらねこの様子や行動，気持ちや性格を表す語句を読み，話や文章の中で使うとともに，語彙を豊かにしている。	(1)エ，オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，オ
思・判・表	○ リョウやのらねこの行動や気持ちなどについて，叙述をもとに捉えている。	C(1)イ，エ，カ (2)イ
	○ リョウやのらねこの気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。	C(1)イ，エ，カ (2)イ
	○ 「のらねこ」を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	C(1)イ，エ，カ (2)イ
	○ 「のらねこ」を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりしている。	C(1)イ，エ，カ (2)イ
	○ 「のらねことリョウのかいねこのちがい」「『のらねこ』を読んだ感想」など，書く内容の中心を明確にして文章の構成を考えている。	B(1)イ，ウ (2)ウ
	○ 「のらねこ」を読んだ感想とそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。	B(1)イ，ウ (2)ウ
	○ 「のらねこ」を読んで，感じたことや想像したことを書いている。	B(1)イ，ウ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ のらねことリョウの言葉と行動と，そこから気づいたことをノートにまとめている。	
	○ のらねこは，リョウとかいねこの姿を，屋根の上からどのような気持ちや様子で見ていたか話合っている。	
	○ 場面の展開に即して，リョウとのらねことのふれあいを，そのときの様子や気持ちを想像しながら読んでいる。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
のらねこ①	1	○ 全文を読み,「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
のらねこ②	4	○ のらねことリョウの言葉と行動と, そこから気づいたことをノートにまとめる。	構造と内容の把握
		○ のらねこの性格や, リョウがのらねこをどう思っているか話し合う。	構造と内容の把握
のらねこ③	2	○ リョウとのらねこの気持ちが, いちばん近づいたのはどの場面か話し合う。	精査・解釈
		○ のらねことリョウの家のねことのちがいについてノートにまとめ, 友達と紹介し合う。	精査・解釈/共有
のらねこ④	1	○ のらねこは, リョウとかいねこの姿を, 屋根の上からどのような気持ちや様子で見ていたか話し合う。	考えの形成
のらねこ⑤	1	○ 「のらねこ」を読んだ感想をノートに書き, 友達と読み合う。	共有
		○ 99ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	上	100	1	7	7

大単元(題材名)	きせつを表す言葉を集めましょう。		
中単元(曲名)	きせつの言葉を集めよう		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	D自然愛護／感動，畏敬の念	

【到達目標】

知・技	○ 長い間使われてきた季節に関わる日本語の意味を知り，使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 四季や新年を表す言葉を選び，それらを比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 調べたことをまとめて報告することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 季節（四季・新年）の言葉，季節を感じる言葉を集めようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 長い間使われてきた季節に関わる日本語の意味を知り，使っている。	(1)エ (3)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)イ
思・判・表	○ 自然や生活の中から，四季や新年を表す言葉を選び，それらを比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア (2)ア
	○ 自然や生活の中から，四季や新年を表す言葉を調べて報告している。	B(1)ア (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 季節（四季・新年）の言葉，季節を感じる言葉を集めている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
きせつの言葉を集めよう	1	○ 四つの俳句の季節の言葉（季語）について確かめる。	情報の収集
		・ 「歳時記」について知る。	情報の収集
		・ 「きせつ」を感じる言葉を自然や生活の中から探す。	情報の収集

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	上	102	~	103	1	9	~	9

大単元(題材名)	しゃしんから気づいたことを集めよう		
中単元(曲名)	よく見て、話し合おう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B 相互理解，寛容		

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。
思・判・表	○ 目的や進め方を確認し、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。
	○ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 写真をもとに気づいたことや感想を話し合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 写真を見て話し合うことをとおして、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。	(1)ア
思・判・表	○ 写真を見て気づいたことや想像したことを話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	A(1)オ (2)ウ
	○ 互いの考えを伝えるなどして、グループで話し合いをしている。	A(1)オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 写真をもとに、気づいたことや感想を友達と話し合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
よく見て、話し合おう	1	○ グループで話し合う写真を選ぶ。	考えの形成
		○ 写真を見て、気づいたことをメモに書く。	考えの形成
		○ メモをもとに話し合う。	考えの形成/共有

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	上	104	～	109	10	9	～	9

大単元(題材名)	六 つたえたいことをはっきりさせて書こう		
中単元(曲名)	取材して知らせよう／インタビューをしよう		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと	A 話すこと・聞くこと	
関連する道徳の内容項目	B 礼儀	C 勤労、公共の精神	

【到達目標】

知・技	○ 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
	○ 聞きたいことが相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、聞くことの中心が明確になるよう構成を考えることができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ いちばん伝えたいことを中心にして、段落のつながりを考えて報告文を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。	(1)エ、キ (2)ア
	○ 自分の考えと取材した内容、全体と中心にする内容など、情報と情報との関係について理解している。	(1)エ、キ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ、キ (2)ア
思・判・表	○ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、メモをしている。	A(1)エ (2)イ
	○ インタビューをするなどして情報を集めたり、それらを報告文として発表したりする活動ができる。	A(1)エ (2)イ
	○ 書く内容の中心を明確にし、取材して分かったことと自分の考えを区別したり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。	B(1)イ、ウ (2)ア
	○ 調べたことやわかったことと、思ったこととの関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	B(1)イ、ウ (2)ア
	○ 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれをもとに考えたことを書く活動をしている。	B(1)イ、ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 知りたいことをまとめて「取材メモ」を作っている。	
	○ 「取材メモ」をもとに調べている。	
	○ いちばん伝えたいことを中心にして、段落のつながりを考えて報告文を書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
取材して知らせよう①	1	○ 104ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に、学習計画を立てる。	見通し
取材して知らせよう②	4	○ 知りたいことをまとめて、「取材メモ」を作り、調べる。	題材の設定/情報の収集
		・ 109ページの「インタビューをしよう」を学習し、応用する。	題材の設定/情報の収集
		・ 個条書きなども参考にする。	題材の設定/情報の収集
取材して知らせよう③	1	○ 「取材メモ」の中から書く内容を選ぶ。	内容の検討/構成の検討
		・ 特に伝えたいことには印をつける。	内容の検討/構成の検討
取材して知らせよう④	2	○ 報告文を書く。	考えの形成/記述
		・ 107ページ「大事な言い方」、108ページ「ここが大事」を参考にする。	考えの形成/記述
取材して知らせよう⑤	1	○ 報告文を読み直す。	推敲
取材して知らせよう⑥	1	○ 友達と読み合う。	共有
		○ 108ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	3	教出	上	110	～	111	6
							9

大単元(題材名)	六 つたえたいことをはっきりさせて書こう		
中単元(曲名)	手紙を書いてつたえよう		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目	B 礼儀		

【到達目標】

知・技	○ 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 自分の気持ちとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、手紙の書き方を工夫することができる。
	○ 行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分の気持ちを手紙に書いて、伝えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。	(1)エ, キ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, キ
思・判・表	○ 自分の気持ちとそれを支える理由や事例との関係について、相手や目的によって、手紙の書き方を工夫している。	B(1)ウ (2)イ
	○ 行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書いている。	B(1)ウ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分の気持ちを手紙に書いて、伝えている。	
	○ いろいろな手紙を書き、手紙のよさを確かめている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
手紙を書いてつたえよう①	1	○ 手紙の書き方を理解する。	情報の収集/内容の検討
		・ 「手紙」と「脚注」を対照させて、書き方を確かめる。	情報の収集/内容の検討
		・ 111ページの「ふうとうの書き方」で、封筒の書き方（表・裏）を確かめる。	情報の収集/内容の検討
手紙を書いてつたえよう②	2	○ 手紙を書き、読み合って感想を述べ合う。	考えの形成
手紙を書いてつたえよう③	3	○ 他にもいろいろな手紙を書き、手紙のよさについて話し合う。	共有
		○ 111ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	上	112	~	113	2	8	~	8

大単元(題材名)	漢字の広場③		
中単元(曲名)	送りがな		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方を理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 送り仮名を理解し，文中で使おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方を理解している。	(1)ウ，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ，エ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 送り仮名を理解し，文中で使っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
送りがな	2	○ 漢字の送り仮名のきまりを知る。	
		・ 「動きや様子を表す言葉」には送り仮名を付けることを確かめる。	
		・ いろいろな読み方のある漢字は，送り仮名によって読み方や意味を使い分け ていることを確かめる。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	上	114	2	8	8

大単元(題材名)	二年生で学んだ漢字③					
中単元(曲名)						
主領域／領域／内容の区分	B書くこと					
関連する道徳の内容項目						

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，絵の中の言葉や漢字を使って，経験したことや想像したことなどを書くことができる。
	○ 2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 114ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，外でやりたいことについて具体的に文章に書くとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 2年生で習った漢字を使って，文や文章を書いている。	(1)エ
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，絵の中の言葉や漢字を使って，外でやりたいことを書いている。	B(1)ウ (2)ウ
	○ 114ページの言葉や2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書いている。	B(1)ウ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 114ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，外でやりたいことについて具体的に書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
二年生で学んだ漢字③	2	○ 114ページの絵の言葉や漢字を使って外でやりたいことを書き，友達と交流し合う。	記述/共有

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	上	116	～	131	10	9	～	10

大単元(題材名)	七 場面のうつりかわりに気をつけて読もう		
中単元(曲名)	わすれられないおくりもの		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	B感謝	D生命の尊さ	

【到達目標】

知・技	○ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。
	○ 物語を読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりすることができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
	○ 登場人物に手紙を書くなど、読んで考えたことをもとに想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の様子や人物の心情を思いうかべながら、あなぐまが森のみんなに残してくれた「おくりもの」は何だったのかを読もうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 物語を読むことで、主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	(1)エ, カ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, カ
思・判・表	○ あなぐまと森の動物たちの気持ちの変化や情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ 「わすれられないおくりもの」を読んで、感想や考えをもっている。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ 「わすれられないおくりもの」を読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりしている。	C(1)エ, オ (2)イ
	○ 森の動物たちにとって「わすれられないおくりもの」とは何だったのかについて、内容のまとまりで段落をつくって、文章の構成を考えている。	B(1)イ, ウ (2)ア
	○ 自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	B(1)イ, ウ (2)ア
	○ 「わすれられないおくりもの」を読んで、それをもとに想像したことなどを書いている。	B(1)イ, ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 森の動物たちのあなぐまとの思い出を整理している。	
	○ あなぐまはどのような気持ちでみんなに教えていたのか友達と話し合っている。	
	○ 森の動物たちにとって、「わすれられないおくりもの」とはどのようなものか、ノートに書いている。	
	○ 場面の様子や人物の心情を思いうかべながら、あなぐまが森のみんなに残してくれた「おくりもの」は何だったのかを読んでいる。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
わすれられないおくりもの ①	1	○ 全文を読み、「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
わすれられないおくりもの ②	3	○ 初発の感想を書き、森の動物たちのあなぐまとの思い出を整理する。	構造と内容の把握
		・ 登場人物、あなぐまとの思い出・その時や今の様子	構造と内容の把握
わすれられないおくりもの ③	3	○ あなぐまはどのような気持ちでみんなに教えていたのか友達と話し合う。	精査・解釈
		○ あなぐまが死んでしまった場面と最後の場面で、もぐらの気持ちの変化を考える。	精査・解釈
わすれられないおくりもの ④	1	○ 森の動物たちにとって「わすれられないおくりもの」とはどのようなものか、ノートに書き、友達と話し合う。	考えの形成
わすれられないおくりもの ⑤	1	○ 「ありがとう、あなぐまさん。」の後に、もぐらはどのような言葉が続けたのか考える。	考えの形成
		○ 他の動物なら、あなぐまにどのようなお礼の言葉を使ったと思うか、友達と話し合う。	共有
		○ 131ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	上	132 ~ 135	4	10 ~ 10	

大単元(題材名)	ローマ字		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ ローマ字の書き表し方のきまりがわかり、日常使う単語をローマ字で読み書きしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 身の回りにあるものでローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いてい	(1)ウ
	る。	
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ ローマ字の書き表し方のきまりがわかり、身の回りのものや日常使う単語をローマ字で読み書きしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ローマ字①	1	○ 身の回りのローマ字をさがす。	
		○ ローマ字表を使ってローマ字で短い言葉を書く。	
ローマ字②	1	○ ローマ字で書かれた言葉を読む。	
ローマ字③	1	○ 「のばす音」「はねる音・つまる音」の書き方を理解する。	
ローマ字④	1	○ ローマ字には、大文字・小文字があるとともに、書き方が2つあるものがあることを知る。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	上	136	1	10	10

大単元(題材名)	ローマ字とコンピューター	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分		
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】	
知・技	○ 日常使われている簡単な単語について、ローマ字でコンピューターに入力することができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ ローマ字の書き表し方のきまりがわかり、日常使う単語をローマ字でコンピューターに入力しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 日常使われている簡単な単語について、ローマ字で入力している。	(1)ウ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ ローマ字の書き表し方のきまりがわかり、日常使う単語をローマ字でコンピューターに入力しようとしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ローマ字とコンピューター	1	○ コンピューターにローマ字で自分の名前を入力する。	
		○ コンピューターでローマ字を入力する時の打ち方を確かめる。	
		・ ローマ字での書き方が二つある場合	
		・ 発音が同じでも違う文字の場合	
		・ 「つまる音」「はねる音」「のばす音」の場合	

2023

年度

教科

学年

国語

3

教科書

上下教科書ページ

教出

下6

~7

配当時数

2

配当月

10

~10

大単元(題材名)	一 絵文字の特長をとらえよう		
中単元(曲名)	世界の人につたわるように		
主領域／領域／内容の区分	A話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B親切, 思いやり	C国際理解, 国際親善	

【到達目標】

知・技	○ 絵や図には, 考えたことや思ったことを世界の人に伝える働きがあることに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して, 日常生活の中から話題を決め, 集めた材料を比較したり分類したりして, 伝え合うことができる。
	○ 互いの考えを伝えるなどして, グループや学級全体で話し合うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 絵や図には, 世界の人に伝わるような働きがあることを理解しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 絵や図には, 考えたことや思ったことを世界の人に伝える働きがあることに気づいている。	(1)ア, エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ア, エ
思・判・表	○ 2023年のオリンピックで使われた絵や図を集め, 比較したり分類したりして, 話し合うために必要な事柄を選んでいる。	A(1)ア (2)ウ
	○ 絵や図についての互いの考えを伝えるなどして, グループや学級全体で話し合っている。	A(1)ア (2)ウ
	○	
主体的に学習に取り組む態度	○ 絵や図には, 世界の人に伝わるような働きがあることがわかっている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
世界の人につたわるように①	1	○ 6ページの写真をどこで見たか話し合う。	内容の検討
		・ 何のための絵なのか。	内容の検討
		○ 7ページの写真から, 何のスポーツか話し合う。	内容の検討
世界の人につたわるように②	1	○ 2023年のオリンピックではどのような絵が使われ, それが何のスポーツか話し合う。	共有

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	下	8	8	10	10

大単元(題材名)	一 絵文字の特長をとらえよう		
中単元(曲名)	くらしと絵文字		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	B親切, 思いやり	C規則の尊重	

【到達目標】

知・技	○ 主語と述語との関係, 修飾と被修飾との関係, 指示する語句と接続する語句の役割, 段落の役割について理解することができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例, 全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して, 中心となる語や文を見つけて要約することができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて, 感想や考えをもつことができる。
	○ 文章を読み, 文章の一部を引用して, わかったことや考えたことを説明したり, 意見を述べたりすることができる。
	○ 学校図書館などを利用し, 事典や図鑑などから情報を得て, わかったことなどをまとめて説明する文章を書くことができる。
	○ 身の回りで見つけた絵文字から書くことを選び, 集めた材料を比較したり分類したりして, 伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫することができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど, 事実やそれをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ くらしと絵文字とのかかわりを, 段落のつながりや段落の要点に注意して読もうとする。
	○ 身の回りの絵文字について, 自分なりの視点で説明する文章にまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 主語と述語との関係, 修飾と被修飾との関係, 指示する語句と接続する語句の役割, 段落の役割について理解している。	(1)エ, カ (2)ア
	○ 筆者の主張とそれを支える理由や事例, 全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	(1)エ, カ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, カ (2)ア
思・判・表	○ 「絵文字の特長」や「絵文字のこれから」について, 中心となる語や文を見つけて要約している。	C(1)ウ, オ (2)ア, ウ
	○ 友達の書いた文章を読んで理解したことに基づいて, 感想や考えをもっている。	C(1)ウ, オ (2)ア, ウ
	○ 友達の書いた文章を読み, 文章の一部を引用して, わかったことや考えたことを説明したり, 意見を述べたりしている。	C(1)ウ, オ (2)ア, ウ
	○ 学校図書館などを利用し, 絵文字についての情報を得て, わかったことなどをまとめて説明する文章を書いている。	C(1)ウ, オ (2)ア, ウ
	○ 身の回りで見つけた絵文字から書くことを選び, 集めた材料を比較したり分類したりして, 伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア, ウ (2)ア
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫している。	B(1)ア, ウ (2)ア
	○ 調べたことをまとめて, 事実やそれをもとに考えたことを説明する文章を書いている。	B(1)ア, ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ くらしと絵文字とのかかわりを, 段落のつながりや段落の要点に注意して読んでいる。	
	○ 身の回りの絵文字について, 自分なりの視点で説明する文章にまとめている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
くらしと絵文字①	1	○ 全文を読み,「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
くらしと絵文字②	2	○ 絵文字とは何かについて筆者の言葉を確認め,全文を3つの大きなまとまりに分ける。	構造と内容の把握
くらしと絵文字③	3	○ 次の点について要点をまとめる。	精査・解釈
		・ 絵文字の3つの特長	精査・解釈
		・ これからの,絵文字の役割	精査・解釈
くらしと絵文字④	2	○ 身の回りで見つけた絵文字を説明する文章を書く。	考えの形成/記述
		・ 「はじめ・中・終わり」の3つの段落に分けて書く。	考えの形成/記述
くらしと絵文字⑤	1	○ 書いた文章を友達と読み合い,感想を話し合う。	共有
		○ 19ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	下	20	7	11	11

大単元(題材名)	一 絵文字の特長をとらえよう		
中単元(曲名)	絵文字で表そう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B 相互理解，寛容	C 勤労，公共の精神	

【到達目標】

知・技	○ 話し合いをメモするために，必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的や進め方を確認し，司会などの役割を果たしながら話し合い，互いの意見の共通点や相違点に着目して，考えをまとめることができる。
	○ 互いの考えを伝えるなどして，グループや学級全体で話し合うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 学校や町の施設を絵文字で表すために，話し合いをしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 学校や町の施設を絵文字で表すための話し合いをメモするために，必要な語句などの書き留め方を理解して使っている。	(1)エ (2)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)イ
思・判・表	○ 絵文字に表すための話し合いで，司会などの役割を果たしながら，互いの意見の共通点や相違点に着目して，考えをまとめている。	A(1)オ (2)ウ
	○ 絵文字に表すため，互いの考えを伝えるなどして，グループで話し合っている。	A(1)オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 役割を決めて，話し合いの進め方を確かめている。	
	○ 学校や町の施設を絵文字で表すために，話し合いをしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
絵文字で表そう①	1	○ 20ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
		○ 学校や町の施設で，絵文字にする場所を決める。	話題の設定
絵文字で表そう②	1	○ 役割を決めて，話し合いの進め方を確かめる。	話し合いの進め方の検討
		・ 役割，話し合いの進め方，記録ノートの取り方	話し合いの進め方の検討
絵文字で表そう③	2	○ 決めた場所について，グループで役割を決めて話し合いをする。	考えの形成
絵文字で表そう④	2	○ 話し合いをもとに，絵文字を作る。	考えの形成
絵文字で表そう⑤	1	○ 話し合いの感想を伝え合う。	共有
		○ 25ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	3	教出	下	26	～	29	4
							11
							11

大単元(題材名)	気持ちをつたえる話し方・聞き方		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B 親切、思いやり／礼儀		

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。
	○ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 気持ちは、「話し方・聞き方」の違い以外に、表情や姿勢、うなずき方などでも伝えられることを理解しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。	(1)ア, エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ア, エ
思・判・表	○ 相手に伝わるように、話し方や聞き方などの働き（言葉・表情・姿勢・うなずき方）を考えている。	A(1)イ (2)ウ
	○ 気持ちは、言葉以外に、表情や姿勢、うなずき方などでも伝えられることを、グループや学級全体で話し合っている。	A(1)イ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 同じ言葉でも、場面や言い方によって気持ちの伝わり方が違うことについて考えている。	
	○ 気持ちは、言葉以外に、表情や姿勢、うなずき方などでも伝えられることについて考えている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
気持ちをつたえる話し方・聞き方①	2	○ 26・27ページを読み、それぞれの場面のかえるの気持ちが伝わるよう言い表す。	考えの形成/共有
		○ 「へえ」という言葉の言い方による違いを考える。	考えの形成/共有
気持ちをつたえる話し方・聞き方②	2	○ 28・29ページを読み、表情や言い方を変えたり姿勢を変えたりして、気持ちの伝わり方の違いを考える。	考えの形成/共有

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	下	30	~	31	2	11	~	11

大単元(題材名)	漢字の広場④		
中単元(曲名)	へんとつくり		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の構成を理解し、「へんやつくり」にも意味があることを理解しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 左右に分けられる漢字では、右側の部分を「へん」、左側の部分を「つくり」といい、それぞれに意味を表すものがあることを理解している。	(1)エ (3)ウ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)ウ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の構成を理解し、「へんやつくり」にも意味があることを理解している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
へんとつくり	2	○ 漢字の構成（へんとつくり）を知る。	
		・ 左の部分が「へん」、右の部分が「つくり」。	
		・ 「へんやつくり」には意味を表すものがある。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	下	32 ~ 32	2	11 ~ 11	

大単元(題材名)	二年生で学んだ漢字④					
中単元(曲名)						
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと					
関連する道徳の内容項目						

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、絵の中の言葉や漢字を使って、経験したことや想像したことなど書くことができる。
	○ 2年生で学んだ漢字を使って、感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 32ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに、教室の様子を具体的に文章に書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 2年生で習った漢字を使って、文や文章を作っている。	(1)エ
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、絵の中の言葉や漢字を使って、教室の様子を書いている。	B(1)ア (2)ウ
	○ 32ページの言葉や2年生で学んだ漢字を使って、感じたことや想像したことを書いている。	B(1)ア (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 32ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに、教室の様子を具体的に文章に書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
二年生で学んだ漢字④	2	○ 32ページの絵の中の言葉や漢字を使って教室の様子を書き、友達と交流し合う。	記述/共有

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	下	34	～	53	9	10	～	11

大単元(題材名)	二 登場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう		
中単元(曲名)	モチモチの木		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A善悪の判断，自律，自由と責任	B親切，思いやり	C家族愛，家庭生活の充実

【到達目標】

知・技	○ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し，語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつことができる。
	○ 物語を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりすることができる。
	○ 目的を意識して，集めた材料を比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面や情景の移り変わりとともに変化する豆太の気持ちを想像豊かに読むとともに，物語のおもしろいところを紹介する文章を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し，語彙を豊かにしている。	(1)工，オ
	○ 「モチモチの木」を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもっている。	(1)工，オ
	○ 「モチモチの木」を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりしている。	(1)工，オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工，オ
思・判・表	○ 豆太の気持ちの変化や性格について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	C(1)工，オ (2)イ
	○ 「モチモチの木」のおもしろいところを，集めた材料を比較したり分類したりして，伝えたいことをはっきりさせて紹介し合っている。	B(1)ア，ウ (2)ウ
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。	B(1)ア，ウ (2)ウ
	○ 感じたことや想像したことをノートにまとめている。	B(1)ア，ウ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 豆太の気持ちの変化を，場面の移り変わりに合わせてノートに整理している。	
	○ 物語の初めと終わりで，豆太は変わったのか，考えと理由を話し合っている。	
	○ 場面や情景の移り変わりとともに変化する豆太の気持ちを想像豊かに読むとともに，物語のおもしろいところを紹介する文章を書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
モチモチの木①	1	○ 全文を読み,「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
モチモチの木②	1	○ 登場人物と中心人物を確かめる。	構造と内容の把握
		○ じさまは, 豆太をどのような子と思っているか考える。	構造と内容の把握
モチモチの木③	4	○ 豆太の気持ちの変化を, 場面の移り変わりに合わせてノートに整理する。	精査・解釈
モチモチの木④	1	○ 物語の初めと終わりで, 豆太は変わったのか, 考えと理由を話し合う。	考えの形成
モチモチの木⑤	1	○ 物語を読んで, おもしろいところをノートに書く。	共有
		○ 53ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	下	54	～	57	6	12	～	12

大単元(題材名)	「おすすめ図書カード」を作ろう		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A個性の伸長		

【到達目標】

知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。
	○ 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。
思・判・表	○ 気に入った本を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。
	○ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。
	○ 物語などの文章を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明したり、感想を書いたりすることができる。
	○ 学校図書館などを利用し、物語などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「おすすめ図書カード」を作り、おもしろかった本を紹介し合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ どのような本を「おすすめ図書カード」に書くか、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	(1)イ (3)オ
	○ 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。	(1)イ (3)オ
思・判・表	○ 気に入った本を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	C(1)オ, カ (2)ア, ウ
	○ 本を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	C(1)オ, カ (2)ア, ウ
	○ 物語などの文章を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明したり、感想を書いたりしている。	C(1)オ, カ (2)ア, ウ
	○ 学校図書館などを利用し、物語などを読んで、よかったところや気に入ったところなどを短くまとめようとしている。	C(1)オ, カ (2)ア, ウ
	○ 読んでよかったところや気に入ったところなど、登場人物の気持ちを想像しながら考えたことを書いている。	B(2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 「おすすめ図書カード」を作り、おもしろかった本を紹介し合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「おすすめ図書カード」を作ろう①	1	○ 「おすすめ図書カード」の活用の仕方を確かめる。	構造と内容の把握
		・ 「すいせん者の名前」「本の題名」「書いた人」「本のおいてある場所」「おすすめじょうほう」（感想やおすすめの言葉）（絵を入れてもよい）	構造と内容の把握
		・ 「書くこと」が抜けていなければ、カードの書き方や形などは工夫してもよい。	構造と内容の把握
「おすすめ図書カード」を作ろう②	2	○ 気に入った本を探して読む。	精査・解釈
		・ 友達に聞いた本，図書館で探した本，友達の「おすすめ図書カード」も参考にする。	精査・解釈
「おすすめ図書カード」を作ろう③	3	○ 読んだ本について，「おすすめ図書カード」を書き，友達に伝える。	考えの形成/共有
		・ カードが増えてきたら，使いやすいように，図書係で「目次」を作る。	考えの形成/共有

2023

年度

教科

学年

国語

3

教科書

上下

教科書ページ

教出

下

58

～

59

配当時数

1

配当月

12

～

12

大単元(題材名)	こそあど言葉	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分		
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 指示する語句の役割について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 指示語の働きや使い方を理解しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 指示する語句（こそあど言葉）の役割について理解している。	(1)工, 力
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工, 力
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 指示語の働きや使い方を理解している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
こそあど言葉	1	○ こそあど言葉とその働きを知る。	
		・ 何かを指し示す働きのある言葉	
		○ こそあど言葉の表を見て、働きや意味によって、こそあど言葉の仲間分けができることを知る。	
		・ 文章を読むときは、こそあど言葉が何を指しているのか注意する。	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	下	60	6	12	12

大単元(題材名)	心が動いたことを、詩に書きましょう。		
中単元(曲名)	はっとしたことを詩に書こう		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	D自然愛護／感動、畏敬の念		

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。
	○ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 間違いを正したり、表現を工夫したりして、文や文章を整えることができる。
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。
	○ 詩や物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分の周りに目を向けて、心が動いたことや強く感じたことを、表現を工夫して詩に書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。	(1)ア, エ, オ
	○ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、詩を書く中で使うとともに、語彙を豊かにしている。	(1)ア, エ, オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ア, エ, オ
思・判・表	○ 間違いを正したり、表現を工夫したりして、詩を書こうとしている。	B(1)エ, オ (2)ウ
	○ 心が動いたことが明確になっているかなど、詩に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。	B(1)エ, オ (2)ウ
	○ 詩をつくるなど、感じたことや想像したことを、表現を工夫して書いている。	B(1)エ, オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分の周りに目を向けて、心が動いたことや強く感じたことを、表現を工夫して詩に書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
はっとしたことを詩に書こう①	2	○ 2つの詩を読んで、どんなところに工夫がみられるか確かめる。	構造と内容の把握
		・ 題名、書き出しと終わり、繰り返し、たとえ、心の動き、リズム感	構造と内容の把握
		・ 61ページ「ここが大事」を確認する。	構造と内容の把握
はっとしたことを詩に書こう②	4	○ 最近のできごとや生活の中で気づいたことを詩に書く。	精査・解釈/考えの形成
		・ 書いた詩を友達と読み合う。	精査・解釈/考えの形成
		・ 自分の心の動きを詩に表すことができたかふり返る。	精査・解釈/考えの形成
		○ 61ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	下	62	5	12	12

大単元(題材名)	ことわざ・慣用句の意味を調べて、カードにまとめましょう。		
中単元(曲名)	ことわざ・慣用句		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	○ 長い間使われてきたことわざや慣用句の意味を知り，使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど，事実やそれをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ ことわざ・慣用句の成り立ちや意味を知り，その正しい使い方がわかるようにカードにまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 長い間使われてきたことわざや慣用句の意味を知り，使っている。	(1)エ (3)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)イ
思・判・表	○ ことわざや慣用句の意味を調べ，その正しい使い方がわかるような書き表し方を工夫している。	B(1)ウ (2)ア
	○ ことわざ・慣用句を集め，カードにまとめている。	B(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ ことわざ・慣用句の成り立ちや意味を知り，その正しい使い方がわかるようにカードにまとめている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ことわざ・慣用句①	1	○ 「ことわざ」とはどんな言葉か知り，どんな場面でどのことわざを使えばよいか確かめる。	考えの形成
		・ どのような場面で，どのことわざを使うかを考える。	考えの形成
ことわざ・慣用句②	1	○ 「慣用句」とはどんな言葉か知り，いろいろな場面での使い方を確かめる。	考えの形成
		・ 慣用句の意味と元の言葉の意味を調べる。	考えの形成
		・ 同じ言葉を使った慣用句の意味を調べる。	考えの形成
ことわざ・慣用句③	2	○ ことわざ・慣用句を集めて，意味や使い方を調べてカードにまとめる。	記述
		・ カードを友達と読み合い，感想を伝える。	共有

2023	年度	教科書		上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	3	教出	下	68	～	71	2
							1
							1

大単元(題材名)	詩を楽しもう		
中単元(曲名)	夕日がせなかをおしてくる／いちばんぼし		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	D感動，畏敬の念		

【到達目標】

知・技	○ 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。
思・判・表	○ 人物の気持ちの変化や情景について，場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。
	○ 詩を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつことができる。
	○ 詩を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の情景を想像したり，言葉のリズムを楽しんだりしながら声に出して読み，詩の世界を楽しもうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 詩の構成や内容を具体的にイメージしながら音読している。	(1)ク
思・判・表	○ 「ぼくら」や「ぼく」の気持ちの変化や情景について，場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。	C(1)エ，オ (2)イ
	○ 詩を読んでイメージしたことや，言葉のリズムについて，感想や考えをもっている。	C(1)エ，オ (2)イ
	○ 詩を読み，表現のおもしろさや浮かんできたイメージなどを伝え合っている。	C(1)エ，オ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の情景を想像したり，言葉のリズムを楽しんだりしながら声に出して読み，詩の世界を楽しんでいる。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
夕日がせなかをおしてくる／いちばんぼし①	1	○ 「夕日がせなかをおしてくる」を読み，発想や表現のおもしろさ，力強さに気づく。	精査・解釈/考えの形成
		・ 一連と二連との対照	精査・解釈/考えの形成
		・ 比喩の力強さ	精査・解釈/考えの形成
夕日がせなかをおしてくる／いちばんぼし②	1	○ 「いちばんぼし」の情景を想像しながら読み味わい，特徴的な表現に気づく。	精査・解釈/考えの形成
		・ 比喩の巧みさ	精査・解釈/考えの形成

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	下	72	7	1	1

大単元(題材名)	三 調べて発表しよう		
中単元(曲名)	町の行事について発表しよう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	C 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などに注意して話することができる。
	○ 比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 話の中心や話す場面を意識して，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などを工夫することができる。
	○ 互いの考えを伝えるなどして，グループや学級全体で話し合う活動を行うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 地域の行事について調べ，資料を使って内容に合った方法を工夫して，わかりやすく発表しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 相手を見て話すとともに，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などに注意して話している。	(1)イ，エ (2)イ
	○ 聞いたり調べたりしたことのメモの仕方，引用の仕方や資料の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使っている。	(1)イ，エ (2)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)イ，エ (2)イ
思・判・表	○ わかりやすい話の順序を考えて，資料の提示の仕方，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などを工夫している。	A(1)ウ (2)イ
	○ 互いの考えを伝えるなどして，グループや学級全体で話し合っている。	A(1)ウ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分が住んでいる地域の行事について調べ，資料を使って内容に合った方法を工夫して，わかりやすく発表している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
町の行事について発表しよう①	1	○ 72ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
町の行事について発表しよう②	2	○ 町の行事について，グループで調べたいことを決め，くわしく調べる。	話題の設定/情報の収集
		・ 本・ちらし・パンフレット，ホームページ・動画，インタビュー	話題の設定/情報の収集
町の行事について発表しよう③	1	○ 調べてわかったことを確かめ，発表計画表を作る。	内容の検討/構成の検討
町の行事について発表しよう④	1	○ 75ページの「発表するとき」を参考に，発表の練習をする。	考えの形成
町の行事について発表しよう⑤	2	○ 資料を使って発表する。	表現
		・ 77ページ「大事な言い方」「ここが大事」を参考にする。	表現
		○ 発表を聞いて，感想を伝え合う。	共有
		○ 77ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	下	78 ~ 79	2	1 ~ 1	

大単元(題材名)	文の組み立て		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 文の主語，述語がわかり，述語の四つの種類によって違う組み立てになる文や，修飾語を加えて組み立てられる文を知ろうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係について理解している。	(1)工，力
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工，力
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 文の主語，述語がわかり，述語の四つの種類によって違う組み立てになる文や，修飾語を加えて組み立てられる文があることを理解している。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
文の組み立て①	1	○ 文には，述語の型により主語・述語の4種類の組み合わせがあることを知る。	
文の組み立て②	1	○ 文には，主語・述語のほかに，「～を」「～に」などの修飾語を加えて組み立てるものがあることを知る。	

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	下	80	～	81	2	1	～	1

大単元(題材名)	漢字の広場⑤		
中単元(曲名)	漢字の組み立て		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 漢字が、上下に分けられるものや外側を囲むものなどで組み立てられているとともに、意味がある場合があることを理解できる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字が、上下に分けられるものや外側を囲むものなどで組み立てられていることを理解するとともに、日常生活で読んだり書いたりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 漢字が、上下に分けられるものや外側を囲むものなどで組み立てられているとともに、その部分に意味がある場合があることを理解している。	(1)エ (3)ウ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)ウ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字が、上下に分けられるものや外側を囲むものなどで組み立てられていることを理解しながら、日常生活で読んだり書いたりしている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
漢字の組み立て	2	○ 漢字は、上下に分けられるものや外側を囲むものなどによって組み立てられていることを確かめる。	
		・ 「くさかんむり」など物に関係のある場合もある。	

2023

年度

教科

3

国語

3

教科書

上下教科書ページ

教出

下

82

～

82

配当時数

2

配当月

1

～

1

大単元(題材名)	二年生で学んだ漢字⑤	
中単元(曲名)		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと	
関連する道徳の内容項目		

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、絵の中の言葉や漢字を使って、経験したことや想像したことなどを書くことができる。
	○ 2年生で学んだ漢字を使って、感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 82ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに、部屋の様子を具体的に文章に書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 2年生で習った漢字を使って、文や文章を作っている。	(1)エ
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、絵の中の言葉や漢字を使って、部屋の様子を書いている。	B(1)ア (2)ウ
	○ 82ページの言葉や2年生で学んだ漢字を使って、感じたことや想像したことを書いている。	B(1)ア (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 82ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに、部屋の様子を具体的に文章に書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
二年生で学んだ漢字⑤	2	○ 82ページの絵の中の言葉や漢字を使って部屋の様子を書き、友達と交流し合う。	記述/共有

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	下	84	9	2	2

大単元(題材名)	四 図や写真と文章を、むすびつけて読もう					
中単元(曲名)	川をさかのぼる知恵					
主領域／領域／内容の区分	C読むこと			B書くこと		
関連する道徳の内容項目						

【到達目標】

知・技	○ 指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 説明文を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。
	○ 説明文を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方に共通点や違いがあることに気づくことができる。
	○ 説明文を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりすることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
	○ 考えたことや感じたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「川をさかのぼる知恵」を図と文章を結び付けて読み、自分の考えをまとめ、友達と感想を伝え合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解して、「川をさかのぼる知恵」を読んでいる。	(1)エ, カ (2)ア
	○ 見沼通船堀の工夫や人々の知恵について理解している。	(1)エ, カ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, カ (2)ア
思・判・表	○ 見沼通船堀を考えた人々の知恵について、感想や考えをもっている。	C(1)オ, カ (2)ア
	○ 見沼通船堀を考えた人々の知恵について考えたことを共有し、一人一人の感じ方に共通点や違いがあることに気づいている。	C(1)オ, カ (2)ア
	○ 見沼通船堀の工夫について、図などを引用して、わかったことや考えたことを説明したり、整理したりしている。	C(1)オ, カ (2)ア
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	B(1)ウ (2)ウ
	○ 話し合ったことをもとに、考えたことや感じたことをノートにまとめている。	B(1)ウ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 見沼通船堀が必要になった理由を確かめている。	
	○ 芝川と見沼代用水を行き来するための工夫を、図に書きこんで整理している。	
	○ 「川をさかのぼる知恵」を図と文章を結び付けて読み、自分の考えをまとめ、友達と感想を伝え合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
川をさかのぼる知恵①	1	○ 全文を読み,「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
川をさかのぼる知恵②	2	○ 見沼通船堀が必要になったのはなぜかについて考える。	構造と内容の把握
		・ 芝川と見沼代用水を行き来するとき,どんな危険があったか	構造と内容の把握
川をさかのぼる知恵③	2	○ 芝川と見沼代用水を行き来するための工夫を,図に書きこんで整理する。	精査・解釈
川をさかのぼる知恵④	2	○ 見沼通船堀を考えた人々の知恵について考え,話し合う。	考えの形成
川をさかのぼる知恵⑤	2	○ 人々の知恵について話し合ったことをもとに,考えたことをノートにまとめ,感想を交流する。	共有
		・ 友達との違い	共有
		・ 友達や自分の考えのよいところ	共有
		○ 93ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	下	96	～	101	10	2	～	2

大単元(題材名)	五 つたえたいことの中心を明らかにして書こう		
中単元(曲名)	強く心にのこっていることを		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	A個性の伸長	B友情, 信頼	Cよりよい学校生活, 集団生活の充実

【到達目標】

知・技	○ 様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増し, 文章の中で使うとともに, 語彙を豊かにすることができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例, 全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫することができる。
	○ 間違いを正したり, 相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして, 文や文章を整えることができる。
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど, 文章に対する感想や意見を伝え合い, 自分や友達の文章のよいところを見つけることができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど, 事実やそれをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 1年間の中でいちばん思い出に残っていることを, いちばん伝えたい場面を中心に書き, 友達と読み合っ
	て感想を伝え合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増し, 文章の中で使うとともに, 語彙を豊かにしている。	(1)工, オ (2)ア
	○ その時の会話や気持ち, 様子を表す言葉など, 全体と中心の関係について理解している。	(1)工, オ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工, オ (2)ア
思・判・表	○ 自分の気持ちや, その時の様子や会話などをはっきりさせて, 書き表し方を工夫している。	B(1)ウ, エ, オ (2)ア
	○ 間違いを正したり, 目的を意識した表現になっているかを確認めたりして, 文章を整えている。	B(1)ウ, エ, オ (2)ア
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど, 文章に対する感想や意見を伝え合い, 自分や友達の文章のよいところを見つけている。	B(1)ウ, エ, オ (2)ア
	○ 1年間でいちばん心に残っていることについて, 事実やそれをもとに考えたことを書いている。	B(1)ウ, エ, オ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 中心場面を考えながら, 組み立て表を作っている。	
	○ 1年間の中でいちばん思い出に残っていることを, いちばん伝えたい場面を中心に書き, 友達と読み合っ	
	て感想を伝え合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
強く心に残っていることを ①	1	○ 96ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
強く心に残っていることを ②	2	○ 1年間でいちばん思い出に残っていることを選び，詳しく思い出す。	題材の設定/情報の収集
強く心に残っていることを ③	2	○ 中心場面を考えながら，組み立て表を作る。	内容の検討/構成の検討
		・ 「始め・中・終わり」「できごと（時間の流れ）」「その時の様子や気持ち」	内容の検討/構成の検討
強く心に残っていることを ④	4	○ 組み立て表を生かして，読み返しながらかく。	考えの形成/推敲
		・ 98・99ページの脚注，140ページを参考にする。	考えの形成/推敲
		・ 校正の仕方（100ページ「直し方」）を参考に文を直す。	考えの形成/推敲
強く心に残っていることを ⑤	1	○ 友達と読み合って，感想を伝え合う。	共有
		○ 101ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	下	102 ~ 103	2	2	~ 2

大単元(題材名)	漢字の広場⑥		
中単元(曲名)	二つの漢字の組み合わせ		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 二つの漢字でできた言葉には組み合わせ方に種類があることを理解し、言葉を作ることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 二つの漢字を組み合わせているいろいろな言葉を作ろうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 組み合わせ方を理解して、漢字二字の言葉を作っている。	(1)工
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)工
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 二つの漢字を組み合わせているいろいろな言葉を作っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
二つの漢字の組み合わせ	2	○ 二つの漢字でできた言葉の三とおりの例を通して、漢字二字の組み合わせ方を確かめる。	
		・ 上の漢字が下の漢字を修飾する漢字二字を組み合わせた言葉	
		・ 関係のある漢字二字を組み合わせた言葉	
		・ 反対の意味の漢字二字を組み合わせた言葉	

2023	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
国語	3	教出	下	104	2	2	2

大単元(題材名)	二年生で学んだ漢字⑥					
中単元(曲名)						
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと					
関連する道徳の内容項目						

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、絵の中の言葉や漢字を使って、経験したことや想像したことなど書くことができる。
	○ 2年生で学んだ漢字を使って、感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 104ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに、町の様子を具体的に文章に書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 2年生で習った漢字を使って、文や文章を作っている。	(1)エ
思・判・表	○ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、絵の中の言葉や漢字を使って町の様子を書いている。	B(1)エ (2)ウ
	○ 104ページの言葉や2年生で学んだ漢字を使って、感じたことや想像したことを書いている。	B(1)エ (2)ウ
	○	
主体的に学習に取り組む態度	○ 104ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに、町の様子を具体的に文章に書こうとする。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
二年生で学んだ漢字⑥	2	○ 104ページの絵の中の言葉や漢字を使って町の様子を書き、友達と交流し合う。	記述/共有

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	下	106	～	123	12	3	～	3

大単元(題材名)	六 登場人物の気持ちのうつりかわりを読もう		
中単元(曲名)	おにたのぼうし		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	B親切, 思いやり		

【到達目標】

知・技	○ 様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 文章を読んで理解したことに基づいて, 感想や考えをもつことができる。
	○ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し, 一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。
	○ 物語を読み, 内容を説明したり, 考えたことなどを伝え合ったりすることができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし, 内容のまとまりで段落をつくり, 文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫することができる。
	○ 伝えたいことを手紙に書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の移り変わりに注意して, おにたの様子や気持ちの移り変わりを想像しながら読み, おにたの心の動きを想像しながら, おにたに宛てた手紙を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 物語を読むことで, 様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 語彙を豊かにしている。	(1)エ, オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, オ
思・判・表	○ 「おにたのぼうし」を読んで理解したことに基づいて, 感想や考えをもっている。	C(1)オ, カ (2)イ
	○ 「おにたのぼうし」を読んで感じたことや考えたことを共有し, 一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	C(1)オ, カ (2)イ
	○ 「おにたのぼうし」を読み, 内容を説明したり, 考えたことなどを伝え合ったりしている。	C(1)オ, カ (2)イ
	○ ノートにまとめる時, 内容の中心を明確にし, 文章の構成を考えている。	B(1)イ, ウ (2)イ
	○ 場面の移り変わりを考えながら, 麦わらぼうしを残して消えたおにたの気持ちに寄り添って, おにたにあてた手紙の書き表し方を工夫している。	B(1)イ, ウ (2)イ
	○ 伝えたいことを手紙に書いている。	B(1)イ, ウ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面ごとに移り変わるおにたの気持ちを想像している。	
	○ 麦わらぼうしを残してなくなったおにたの気持ちを考えている。	
	○ 場面の移り変わりに注意して, おにたの様子や気持ちの移り変わりを想像しながら読み, おにたの心の動きを想像しながら, おにたに宛てた手紙を書いている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
おにたのぼうし①	1	○ 全文を読み,「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
おにたのぼうし②	2	○ 主な登場人物を確かめる。	構造と内容の把握
		○ 物語の終わりの場面の感想を書く。	構造と内容の把握
おにたのぼうし③	5	○ おにたの性格を話し合う。	精査・解釈
		○ まこと君の家にいる時と,女の子の家を見てからの,おにたの違いをノートにまとめる。	精査・解釈
		○ まこと君の家から出ていく時と,女の子の前からいなくなる時の,おにたの違いについて考える。	精査・解釈
おにたのぼうし④	2	○ おにたは,なぜ麦わらぼうしを残していなくなったのか,ノートにまとめる。	考えの形成
おにたのぼうし⑤	2	○ おにたに手紙を書き,友達と読み合う。	共有
		○ 123ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

2023	年度									
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月				
国語	3	教出	下	124	~	125	2	3	~	3

大単元(題材名)	国語の学習		
中単元(曲名)	これまで これから		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	
関連する道徳の内容項目	A 希望と勇気, 努力と強い意志		

【到達目標】

知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに, 言葉の抑揚や強弱, 間の取り方などに注意して話すことができる。
思・判・表	○ 目的を意識して, 日常生活の中から話題を決め, 集めた材料を比較したり分類したりして, 伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。
	○ 質問するなどして情報を集めたり, それらを発表したりすることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして, 書き表し方を工夫することができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど, 事実やそれをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ この1年間の国語の学習をふり振り返りながら, これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに, 言葉の抑揚や強弱, 間の取り方などに注意して話している。	(1)イ
思・判・表	○ この1年, どのような国語学習をしてきたか, 心に残った教材や努力した学習など, 話し合うために必要な事柄を選んでいる。	A(1)ア (2)イ
	○ 友達の思い出について質問したり, それについて自分の考えを発表したりしている。	A(1)ア (2)イ
	○ この1年間の学習で, 印象に残った学習とその理由や事例を明確にして, 書き表し方を工夫している。	B(1)ウ (2)ア
	○ これまでの学習をまとめ, 事実やそれをもとに考えたことを書いている。	B(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ この1年間の国語の学習をふり振り返りながら, これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合っている。	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
これまで これから①	1	○ この1年間の国語の学習で, どのような学習をしてきたか書き出す。	考えの形成
		・ 教科書 2・3 ページの「三年生で学ぶこと」を参考に思い出す。	考えの形成
これまで これから②	1	○ これからどのような活動をしたいか話し合う。	共有